

# アサヒビール跡地に公共施設整備計画 (案)

## 中央病院 消防署、体育館など

西宮市は2月2日開催の市議会・総務常任委員会で、今年8月に撤退するアサヒビール西宮工場の跡地（津門大塚町・阪急阪神国道駅東）の活用提案書を確定させ、あわせて跡地において既に市長から発表されている市立中央病院に加え、多目的・防災公園、西宮消防署、中央体育館などの公共施設を整備する基本構想（素案）を示し、市民の意見募集（パブリックコメント）をしたい、と報告しました。

アサヒビール工場跡地は、市の中心部に位置し、10haを超える広大なものであり、市は跡地活用について、まちづくりに大きな影響が及ぶとして、H22年度に民間コンサルタントに「活用提案」を委託。昨年9月にこれをもとに「跡地活用提案書(案)」を作成していました。

このたびの報告は、この案を一部修正して確定し、今後アサヒビールや関係権利者と協議、調整の場を設定し、検討していきたい、としています。

アサヒビール西宮工場跡地（以下、対象地）活用にあたっては、「対象地とその東部の中津浜線との間のエリアを“東部新拠点”と名付け」、「新しい機能を有した都市拠点として、“環境最先端、健康、安心・安全、賑わいの拠点”と位置付ける」、その中で、「拠点の位置づけに沿った公共施設の整備を考える」、また、「今後見込まれる民間開発については、(この方向で)適切に誘導、指導を行っていく」としています。

合わせて報告された、公共施設整備の基本構想（素案）では、対象地に、①拠点の位置づけ（環境最先端、

健康、安心・安全、賑わい）にふさわしいものであること。②第4次西宮市総合計画において整備・拡充が必要とされ、老朽化もしくは耐震化対策が計画されていること。③公共施設間で機能面の連携が可能な施設であること、などの条件をふまえ、約半分の土地を買い取り、市立中央病院、西宮消防署、中央体育館（多目的アリーナ）を移転新築し、多目的・防災公園、共用駐車場、南北道路を新設・整備したい、という内容になっています。

今後、2月9日（木）から3月12日（月）まで、市民の意見を募集（パブリックコメント）し、4月下旬にパブリックコメントの結果を公表する予定。

3月定例会市議会が近々開催されますが、市の将来のまちづくりに影響する大プロジェクトであり、党議員団は市民の声をもとに議論をしていきたいと考えています。



### < 市がアサヒビール跡地に整備したいとしている施設 >

\*面積の単位：㎡、費用の単位：億円

施設等名称	面積	用地費	建設費	総事業費
多目的・防災公園	10000	18.1	1.0	19.1
西宮市立中央病院	7100	12.6	76.0	88.6
西宮消防署	3000	5.4	25.1	30.5
中央体育館、武道場	10000	18.1	71.4	89.5
共用駐車場	5000	9.1	3.2	12.3
南北道路、駅前空間	10000	(19.9)	(1.2)	(21.1)
合計	45100	63.3	176.7	240.0

\*用地費は H23 相続税路線価を基準に算定  
\*建設費は類似施設より算出した概算費用  
\*南北道路、駅前空間の整備については、(他の) 開発者負担分も含むため、合計の金額には含んでいない

\*現在の中央病院、消防署、体育館跡地は原則売却し、事業費に充てるとしています。